

いこい通信

第16号

2023年3月

発行 一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム

「いこい通信」は、宮城県内で避難者支援にあたられている方々に、福島県からの県外避難者（広域避難者）の置かれている状況や、宮城県内・他地域における支援活動の様子等をお伝えする情報紙として発行しています。自らの意思に反して全国への分散避難を余儀なくされた方々が、避難先で適切な支援につながっていくための一助となることを目的としています。

■ 東北～北海道ブロック 広域避難者支援団体合同視察会を開催しました

原子力災害被災地の現状を実際に見て、復興に尽力する方の声を聞くことで、今後の支援活動をより充実させていくことを目的として、東北各県と北海道で広域避難者支援に関わっている団体・機関の担当者を対象とした「合同視察会」を3回開催しました。

第1回 2022年10月29日（土）

川俣町山木屋地区「とんやの郷」（写真左）～
浪江町津島地区（帰還困難区域）～
道の駅なみえ～
東日本大震災原子力災害伝承館（双葉町）～
震災遺構請戸小学校（浪江町・写真右）



第2回 2023年1月28日（土）

中間貯蔵工事情報センター（大熊町・写真左）～
東京電力廃炉資料館（富岡町）～
富岡町震災伝承施設「とみおかアーカイブ・
ミュージアム」（写真右）～大熊町復興拠点



第3回 2023年3月4日（土）

小高交流センター（南相馬市・写真左）～
花卉栽培事業者 hinataba（同・写真右）～
稲荷神社北萱浜慰霊碑（同・写真下）～
南相馬市原町区・鹿島区沿岸部視察～
相馬市伝承鎮魂祈念館



これらの合同視察会のうち、第1回・第2回は令和4年度ふるさと・きずな維持・再生支援事業（福島県文化振興課）の、第3回は2022年度日本財団助成事業の一環としてそれぞれ開催しました。

■ ふくしま仙台サロン 2022年度 開催レポート（1）

福島県から宮城県内に避難されている皆さんの定期交流会「ふくしま仙台サロン」。2022年度も、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行いながら開催しました。

○4月20日「松島でお花見散歩」

（参加者 21名）

松島町内高城川沿いの桜を見ながら散歩。その後、松島湾の遊覧船に乗って交流しました。



○5月18日

作戦会議&ミニ講座「長町ってどんな街？」

（参加者 9名）

今年度のサロンの内容について決めました。その後、サロン会場となっている町「長町」の歴史を学びました。



○6月22日

山形でさくらんぼ～

鈴木酒造店訪問

（参加者 15名）

東根市で旬のさくらんぼの買い物を楽しみ、長井市の鈴木酒造店を訪問しました。



○7月20日

七夕飾りを作ろう！

（第3弾）

（参加者 10名）

みんなで仙台七夕飾りを作りました。



○9月14日

「宮城大学の学生さんに

ふくしまのことを伝えよう」（参加者 6名）

インターンの学生さんと交流しました。



○11月16日

秋の遠野路を行く

（参加者 21名）

コロナが収まったタイミングで、遠野まで足を延ばしました。



○3月15日

「餅の里」一関へ

（参加者 13名）

岩手・宮城内陸地震の震災遺構を見学しました。



これらの交流会は2022年度日本財団助成事業の一環として開催しました。ご支援ありがとうございました。

【発行者・連絡先】

一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム

〒984-0065 宮城県仙台市若林区土樋 254 ニューメゾン土樋 201

電話：022-353-7550 FAX：022-397-7230

メール：info@tohokuconso.org

Web：http://tohokuconso.org/

「いこい通信」は2022年度日本財団助成事業の一環として発行しています。

Supported by

THE NIPPON
FOUNDATION